

[成果情報名]イチゴ「ゆめのか」の紙ポット育苗による花芽分化早進化

[要約]イチゴ品種「ゆめのか」の紙ポット育苗は、頂花房花芽分化の早進化が可能で、年内収量が高くなる。

[キーワード]イチゴ、「ゆめのか」、紙ポット、花芽分化、年内収量

[担当]長崎県農林技術開発センター・農産園芸研究部門・野菜研究室

[代表連絡先]（代表）0957-26-3330

[区分]野菜

[分類]指導

[作成年度]2012 年度

[背景・ねらい]

本県の主要園芸品目であるイチゴは、現在その9割以上を「さちのか」が占めている。「さちのか」は果実品質に優れる反面、晩生で年内収量が少なく、果実が小玉傾向で収量向上が難しいため生産が伸び悩み、農家所得は減少傾向である。その中で本県では新たなイチゴ品種の導入が求められており、愛知県育成の「ゆめのか」は高い収量性に加え、輸送性に優れているため、有望候補品種であると考えられ、今後現地への普及を図るには、本県の環境条件に応じた栽培技術の確立が必要となる。

「ゆめのか」は収量性に優れるが、普通ポット栽培においては頂花房の花芽分化が「さちのか」より遅い傾向があり、年内収量を安定的に確保するためには早進化技術を活用する必要がある。そこで、ポット表面からの気化熱により培地温度が低く保持され、また、イチゴの体内硝酸イオン濃度が低く推移することにより花芽分化を早進化する効果が高い紙ポット（園学雑誌、2006）の「ゆめのか」普通ポット栽培における花芽分化早進化の効果及び収量性について検討する。

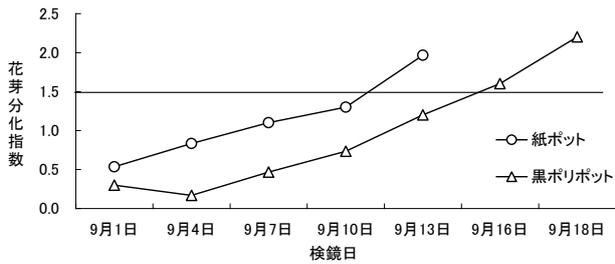
[成果の内容・特徴]

1. 頂花房の花芽分化は、紙ポット育苗が黒ポリポット育苗に比べ5～10日程度早くなる。（図1、2）。
2. 収穫開始日は、紙ポットが早くなるが、その差は定植日の差と同等である（表1、2）。
3. 年内収量は、紙ポット育苗が黒ポリポット育苗に比べ多くなり、特に頂花房の花芽分化が遅れる年ほど顕著である（表3、4）。総収量は、ほぼ同等である（表3）。

[成果の活用面・留意点]

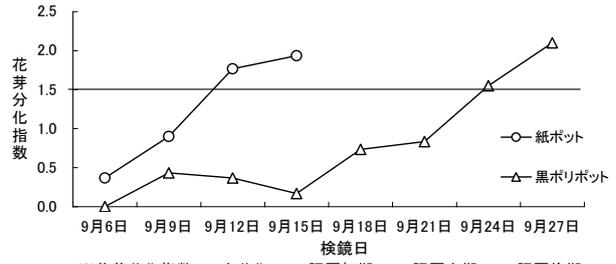
1. 雨よけ高設育苗、長崎県型イチゴ高設栽培システムにおける成績である。紙ポットは20連結ポットを、黒ポリポットは10.5cmポットを用いた。育苗資材購入経費は、10.5cm黒ポリポットを用いる場合に比べ3.5倍となる（表5）。
2. 頂花房の花芽分化が平年比で2011年は3～5日程度早く、2012年は3～5日程度遅れた年の成績である。
3. 紙ポットは乾燥しやすいので、育苗期間中のかん水管理に注意し、風による倒伏にも注意する。また、ポリポット育苗に比べ小苗になる傾向があるので、施肥に注意する。
4. 紙ポットは活着が遅れやすいため、定植後は充分かん水し活着を促進する。
5. 先青果、裂皮等果実障害の発生は紙ポット育苗においても発生する。
6. 20連結紙ポットの容量は、9cmポットに相当することから、培地量が同量の育苗ポット資材による比較検討が必要である。

[具体的データ]



※花芽分化指数 0:未分化、0.5:肥厚初期、1.0:肥厚中期、1.5:肥厚後期、2.0:花房分割期、3.0:かく片形成期

図1 頂花房花芽分化の推移(2011年)



※花芽分化指数 0:未分化、0.5:肥厚初期、1.0:肥厚中期、1.5:肥厚後期、2.0:花房分割期、3.0:かく片形成期

図2 頂花房花芽分化の推移(2012年)

表1 高設栽培における定植日及び頂花房の生育(2011年)

育苗ポット資材	定植日	出蕾日	頂花開花日	頂果収穫日
紙ポット	9月13日	10月16日	10月29日	11月30日
黒ポリポット	9月18日	10月18日	10月31日	12月4日

※出蕾日～頂果収穫日は平均値

表2 高設栽培における定植日及び頂花房の生育(2012年)

育苗ポット資材	定植日	出蕾日	頂花開花日	頂果収穫日
紙ポット	9月15日	10月21日	11月6日	12月20日
黒ポリポット	9月24日	10月26日	11月11日	12月29日

※出蕾日～頂果収穫日は平均値

表3 高設栽培における収量(2011年、()内は黒ポリポット比%)

育苗ポット資材	年内収量	総収量
	(kg/a)	
紙ポット	179 (113)	598 (104)
黒ポリポット	159 (100)	573 (100)

表4 高設栽培における収量(2012年、()内は黒ポリポット比%)

育苗ポット資材	年内収量	1月まで収量
	(kg/a)	
紙ポット	78(279)	216(117)
黒ポリポット	28(100)	184(100)

表5 育苗ポット資材経費試算(700株/a)

育苗ポット資材	単価 (円/個)	耐用年数 (年)	a当り経費 (円/a/年)	備考
紙ポット	3.5	1	2,450	20連結で試算
黒ポリポット	3.0	3	700	10.5cmポットで試算

[その他]

研究課題名：「ブランド・ながさき」農産物育成事業、ながさきオリジナル品種育成促進事業

予算区分：県単

研究期間：2009～2011年度、2012～2014年度

研究担当者：野田和也